

イオンディライト株式会社



2007年度(2008年2月期) 中間決算(07/03/01~07/08/31) 発表資料

1

目次

1. 2007年度中間業績
2. 下期のホットニュース
3. 中期経営計画とその進捗
(参考) 会社概況

<数値の表記について>

資料中、特に注記がない場合を除き下記の方法により記載しております。

- ◇全て連結を対象として記載
- ◇記載金額は百万円未満を切り捨て
- ◇比率は小数点第2位を四捨五入
- ◇会計期間は3月1日から翌年2月末日であり本資料は中間期である
2007年3月1日~同年8月31日までを対象として記載

2



1. 2007年度中間業績

3

期首予想上方修正、「AD中期経営計画」好調

- ✓ 合併効果により
売上高1.4倍、経常利益1.75倍(前年同期比)
- ✓ 合併後、初の組織機構改革実施、
よりスリムで筋肉質、戦略的な企業体質に
- ✓ 海外への展開本格化
世界のイオンディライトへ

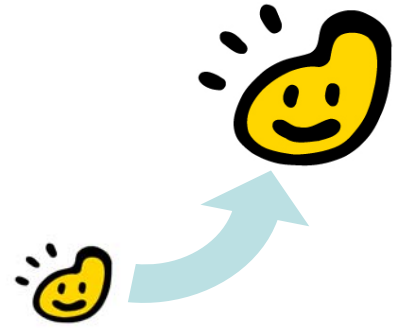


4

①イオンディライトハイライト

1. 中期経営計画策定

2010年度、売上高2000億円
経常利益150億円



2. 合併後、初の組織機構改革で

更にスリムで筋肉質な企業体制へ
旧2社の障壁なく、スムーズな融合が実現

3. 教育改革に着手、教育投資を2倍

技術とホスピタリティのイオンディライトピープル育成

5

AEON delight

②新規就業

1. グループ外(新規)



2. イオングループ内(新規)



GMS 7店舗
SM 19店舗

3. イオングループ内(既存店舗の受託)



6

AEON delight

③業務拡大

1. 国内No.1企業から海外へ

北京プロジェクト、はじまる



イオンモール(株)の北京出店に合わせ、現地に独資法人を設立予定。
プロジェクトチームでの現地対応、具体化。

2. 大・小問わず、全商業施設のフルライン化、実現

エイ・ジー・サービス(株)と業務・資本提携



7

AEON delight

④株主さまへの還元

1. 株主優待制度、導入

基準日 : 毎年2月末日

対象株主さま: 100株以上を所有する株主さま

優待品 : イオン商品券またはトップバリュ商品
(口数別選択制)

2. 株主さまとのリスク共有を強化

株式報酬型ストックオプション制度の導入



8

AEON delight

⑤CSR活動

1. ラオスにイオンディライトが学校設立(国際)

イオンディライトグループ全社で
1校の建設寄贈が決定

イオン1%クラブ、
日本ユニセフを経て



2. クリーンデーで街をきれいに(地域)

御堂筋・堺筋



河川の一斉清掃



⑥損益計算書(要約)

単位:百万円

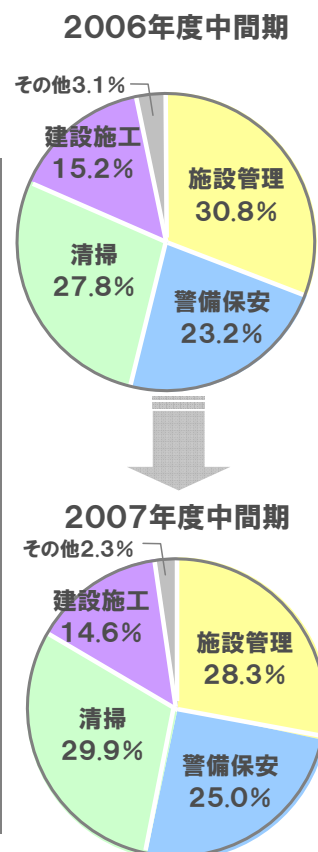
	2006年度 中間期	売上 構成比 (%)	2007年度 中間期	売上 構成比 (%)	前期比 (%)	増減額
売上高	47,427	100.0	67,766	100.0	142.9	20,339
営業利益	2,206	4.7	3,935	5.8	178.4	1,729
経常利益	2,189	4.6	3,833	5.7	175.1	1,644
当期純利益	1,191	2.5	2,080	3.1	174.6	889

⑦セグメント別売上高

◇総合の強みを更に推進、各分門とも順調に推移

単位:百万円

	2006年度 中間期	2007年度 中間期	前年同期比 (%)	増減額
①ビル管理部門				
施設管理事業	14,600	19,153	131.2	4,552
警備保安事業	10,986	16,915	154.0	5,928
清掃事業	13,179	20,258	153.7	7,079
建設施工事業	7,213	9,904	137.3	2,691
ビル管理部門計	45,980	66,232	144.0	20,252
②その他部門				
その他事業	1,447	1,533	106.0	87
①+②売上高合計	47,427	67,766	142.9	20,338



◇その他事業は、土地・建物の賃貸事業、技術研修事業及び人材派遣業などです。

11

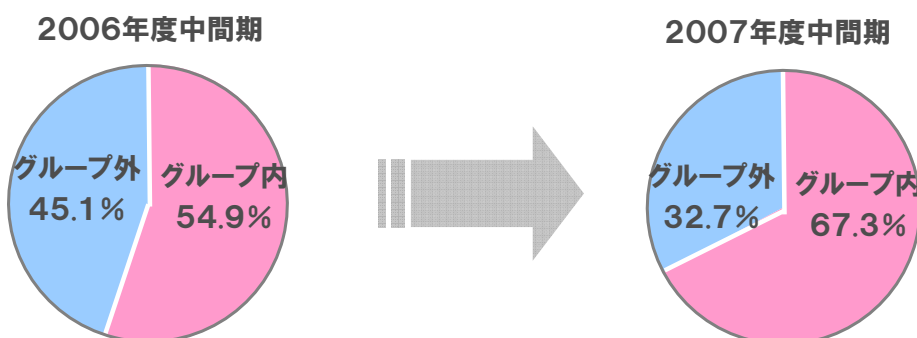
AEON delight

⑧グループ内外別売上高

◇グループ内受託が順調に推移、今後の外部営業にも高まる期待感

単位:百万円

	2006年度 中間期	2007年度 中間期	前年同期比 (%)	増減額
グループ内	26,020	45,596	175.2	19,575
グループ外	21,407	22,169	103.6	762
①+②売上高合計	47,427	67,765	142.9	20,338



12

AEON delight

⑨貸借対照表(要約)

単位:百万円

	2006年度 期末	2007年度 中間期	増減額		2006年度 期末	2007年度 中間期	増減額
流動資産	27,837	29,123	1,286	流動負債	21,447	23,250	1,802
固定資産	20,246	19,970	▲ 276	固定負債	7,467	5,091	▲ 2,376
有形固定資産	2,026	1,990	▲ 36	負債合計	28,915	28,341	▲ 573
無形固定資産	14,161	13,760	▲ 401	株主資本	18,828	20,511	1,683
投資等	4,058	4,219	160	評価換算差額	340	240	▲ 99
資産合計	48,084	49,094	1,009	純資産合計	19,169	20,752	1,583
				負債・純資産合計	48,084	49,094	1,009

13

AEON delight 

⑩キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	2006年度 期末	2007年度 中間期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,680	2,711	1,031
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 13,426	▲ 673	12,753
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,021	▲ 3,096	▲ 14,117
現金及び現金同等物の増減額	▲ 724	▲ 1,058	▲ 334
現金及び現金同等物の期首残高	10,194	9,469	▲ 725
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,469	8,410	▲ 1,059

主な要因

営業活動によるキャッシュフロー

- 税引前当期純利益の計上
⇒38.24億円の増加
- 受取手形・売掛金
⇒21.28億円の減少
- 支払手形・買掛金
⇒12.95億円の増加
- 法人税等の支払い
⇒14.01億円の減少

投資活動によるキャッシュフロー

- 有形固定資産(清掃用機材等)の取得
⇒1.64億円の減少
- 無形固定資産(ソフトウェア)の取得
⇒1.24億円の減少

財務活動によるキャッシュフロー

- 債権流動化資金返還
⇒27億円の減少
- 配当金の支払い
⇒3.96億円の減少

14

AEON delight 

⑪利益還元について(配当予想)

堅調な業績により、期首予想通り配当予定

	2006年度配当実績		2007年度 配当予想
	(上期)	(下期)	
普通配当	10円	15円 (増配5円)	30円
記念配当	—	5円	—
年間配当 (計)	30円		30円

08年2月期の株式配当予想については、07年4月4日付け「2008年2月期決算短信(連結)」表紙にて開示しております。

2. 下期のホットニュース

17

①07年度の予想

単位:百万円

	2006年度 実績	売上構成比 (%)	07年度業績予想 (修正後)	売上構成比 (%)	対前期増減	
					額	%
売上高	111,170	100.0	132,000	100.0	20,830	118.7%
営業利益	5,576	5.0	7,550	5.7	1,974	135.4%
経常利益	5,485	4.9	7,400	5.6	1,915	134.9%
当期純利益	2,998	2.7	4,000	3.0	1,002	133.4%

18

②海外戦略

- ① イオングループや日系企業の海外戦略と連動
- ② アジア戦略の推進
(中国、タイ、マレーシア)

社名	イオンディライト北京物業管理有限公司(仮称)
所在地	北京市昌平区
代表者	大林哲雄
設立予定	11月1日
資本金	500万元
持株比率	イオンディライト株式会社100%
決算期	12月31日
業務内容	建物管理業務



仮称)イオン北京国際商城SC



海外マーケット



国内マーケット

③商業施設管理シェア、32%→40%超へ→更に・・

国内大規模商業施設面積のシェア、40%以上

日本の大型商業施設 約1,200万㎡

イオン
マイカル
ポスフル
ダイエー
⋮

約500万㎡超



130店舗の業務開始



対象店舗 : 130店舗
従事者数 : 約770名(新規採用約200名)
業務開始 : 10月1日からスタート
今年度売上 : 約15億円

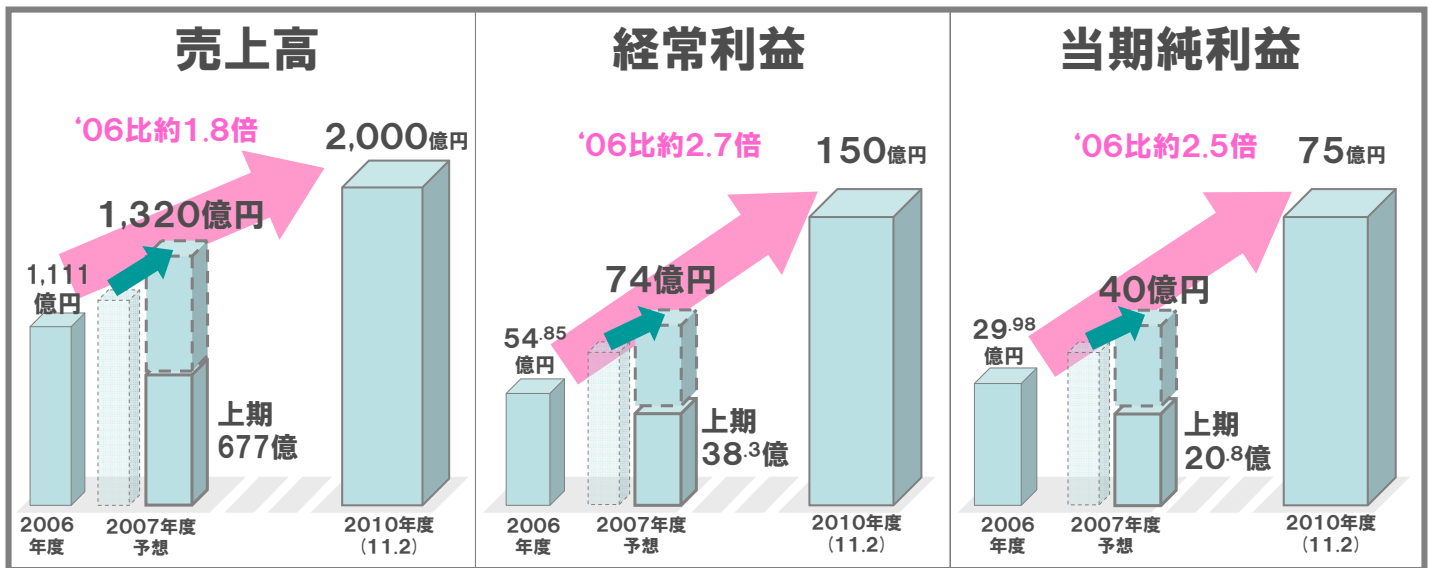


3. 中期経営計画とその進捗

21

① 2010年度のPL(目標)

PL



	2006年度 実績	2007年度 通期予想
売上高	111,170	132,000
経常利益	5,485	7,400
当期純利益	2,998	4,000

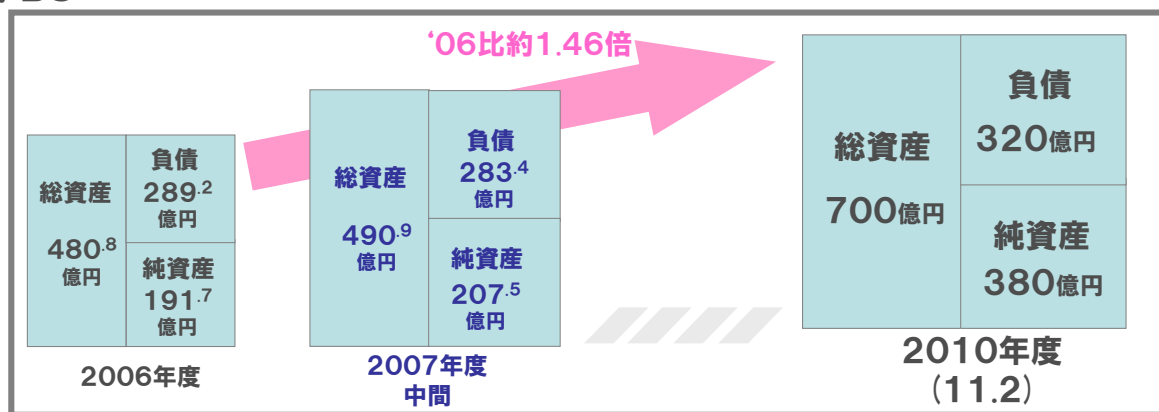
2010年度 目標
200,000
15,000
7,500

単位: 百万円

グラフの大きさはイメージです。達成率は2007年度予想を2010年度まで除いたものを百分率にて示したものです。

②2010年度のBS(目標)

1. BS



2. 経営指標

	2006年度 実績	2007年度 中間	2010年度 目標
売上高経常利益率	4.9%	5.7%	7.5%
売上高当期純利益率	2.7%	3.1%	3.8%
EPS(1株当り当期純利益)	151.17円	104.87円 (半期)	380円
BPS(1株当り純資産)	966.41円	1,046.23円	1,910円
ROE(自己資本当期純利益率)	16.9%	10.4% (半期)	19.8%
ROA(総資産経常利益率)	13.9%	7.9% (半期)	26.2%
自己資本比率	39.9%	42.3%	54.0%

◇上記の目標値は期間中、株式分割や増資等を実施せず、現在と同じ状況で推移した場合。グラフの大きさはイメージです。

③「環境価値」創造企業へ —3大戦略—

メンテナンス業から「環境価値」創造企業へ

業から「産業」への変革を実現する3つの戦略



(参考) 会社概況

25

① ディライトウェイ —経営理念—

イオンディライトは、
お客さまの「環境価値」を創造し続けます。



26

安全・快適を常に進化させる
「環境価値」創造のパイオニアとなる。

③日本の新しいメンテナンスを創出 —イオンディライトグループ—

さらにグループ力を発揮して日本のメンテナンスを創出します



全国小型商業施設の施工・メンテナンスで抜群の信頼性
全国8,200店舗の管理実績
2007年3月業務・資本提携

④ 損益推移

1. 推移グラフ

単位: 百万円



2. 損益の推移

単位: 百万円

	2003年度		2004年度		2005年度		2006年度		2007年度(予想)	
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
売上高	55,749	99.3%	54,665	98.1%	62,323	114.0%	111,170	178.4%	132,000	118.7%
営業利益	1,686	79.7%	2,504	148.5%	2,949	117.8%	5,576	189.1%	7,550	135.4%
経常利益	1,697	80.5%	2,511	148.0%	2,953	117.6%	5,485	185.7%	7,400	134.9%
当期純利益	148	13.1%	860	581.1%	1,324	154.0%	2,998	226.4%	4,000	133.4%

⑤ 経営指標推移

(ご参考)

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度 中間期
EPS(一株当たり当期純利益)	41.66円	64.26円	151.17円	半期) 104.87円
ROE(自己資本当期純利益率)	5.70%	8.29%	16.85%	半期) 10.42%
ROA(総資産経常利益率)	9.90%	10.70%	13.90%	半期) 7.88%
売上高経常利益率	4.59%	4.74%	4.93%	5.66%
売上高当期純利益率	1.57%	2.11%	2.70%	3.07%
総資本回転率	2.15回	2.26回	2.83回	半期) 1.39回
自己資本比率	62.70%	53.69%	39.87%	42.27%
1株当たり純資産	773.26円	825.28円	966.41円	1046.23円

⑥資格保有数、No.1 —従業員保有資格数—

資格保有者さらに増加、延べ19,712名に

資格名	人数	資格名	人数	資格名	人数	資格名	人数
1級ボイラー技士	387	危険物取扱者乙種5類	3	社会保険労務士	2	第一種自家用発電設備専門技術	14
1級管工事施工管理技士	41	危険物取扱者乙種6類	5	昇降機検査資格者	2	第二種衛生管理者	175
1級建築士	14	危険物取扱者甲種	40	消防警備業務技能検定	4	宅地建物取引主任者	27
1級建築施工管理技士	15	危険物取扱者丙種	26	消防設備士乙種1類	61	駐車監視員	80
1級造園施工管理技士	1	機械警備業務管理者	90	消防設備士乙種2類	19	貯水槽清掃作業監督者	37
1級電気工事施工管理技士	185	貴重品運搬警備検定2級	21	消防設備士乙種3類	22	統括管理者	23
1級土木施工管理技士	12	技能士(機械保全)	7	消防設備士乙種4類	145	特級ボイラー技士	9
2級ボイラー技士	1108	空気環境測定者	23	消防設備士乙種5類	45	特殊建築物等調査資格者	248
2級管工事施工管理技士	52	空気調和衛生設備士	1	消防設備士乙種6類	326	特殊消防設備点検資格者	4
2級建築士	30	空港保安警備検定(2級)	1	消防設備士乙種7類	296	特定高圧ガス取扱主任者	13
2級建築施工管理技士	17	空調給排水管理監督者	2	消防設備士甲種1類	143	毒物劇物取扱責任者	6
2級造園施工管理技士	2	警備員指導教育責任者	224	消防設備士甲種2類	65	日商簿記1級	2
2級造園施工管理技士	123	警備員指導教育責任者(1号)	2	消防設備士甲種3類	51	日商簿記2級	20
2級電気工事施工管理技士	23	警備員指導教育責任者(2号)	3	消防設備士甲種4類	287	認定電気工事従事者	59
2級土木施工管理技士	23	警備員指導教育責任者(4号)	1	消防設備士甲種5類	63	非常用予備発電装置工事資格者	10
アマチュア無線	110	建築士上診断技術者	3	上級救命講習終了証	36	病院清掃受託責任者	45
インテリアプランナー	2	建築設備検査資格者	226	常駐警備1級	11	普通救命講習終了証	299
エネルギー管理員	50	建築設備士	2	常駐警備2級	119	普通自動車運転免許	1030
エネルギー管理員(電気)	155	建築設備診断技術者	15	浄化槽管理士	52	簿記検定	16
エネルギー管理員(熱)	81	建築物環境衛生管理技術者	1157	職業訓練指導員	8	防火管理者乙種	9
エネルギー管理士	60	建築物清掃管理評価資格者2級	6	水道技術管理者講習受講者	8	防火管理者甲種	955
エネルギー管理士(電気)	120	交通誘導警備1級	10	清掃作業監督者	43	防火対象物点検資格者	266
エネルギー管理士(熱)	31	交通誘導警備2級	104	第1種消防設備点検資格者	649	防災センター要員講習受講者	747
システムアドミニストレータ	7	公害防止管理者	37	第1種情報処理技術者	2	防災教育担当資格者	35
ネオン工事資格者	4	工事担任者アナログ・デジタル総合	29	第1種電気工事士	953	防除作業監督者	12
ビルクリーニング技能士	254	工事担任者アナログ1種	39	第1種電気主任技術者	11	防火設備士	108
ビル設備管理技士1級	14	工事担任者アナログ2種	51	第1種電気通信主任技術者	5	無線技術士1級	2
ビル設備管理技士2級	15	工事担任者アナログ3種	73	第1種冷凍機械責任者	33	無線技術士2級	3
ファシリティマネージャ	7	工事担任者デジタル1種	56	第2種消防設備点検資格者	617	無線通信士3級	1
ボイラー整備士	161	工事担任者デジタル2種	12	第2種情報処理技術者	5	陸上特殊無線技士1級	17
マンションリフォームマネージャ	2	工事担任者デジタル3種	22	第2種電気工事士	1886	陸上特殊無線技士2級	133
マンション管理士	8	行政書士	3	第2種電気主任技術者	103	陸上特殊無線技士3級	42
レーダー級海上特殊無線技士	19	高圧電気工事士	86	第2種電気通信主任技術者	831	ATS浄化槽技術管理者	12
管理業務主任者	39	自衛消防技術認定証	65	第2種冷凍機械責任者	231	貴重品運搬警備検定1級	3
危険物取扱者乙種1類	4	実用英語技能検定2級	7	第3種電気主任技術者	1070	区分所有管理士	4
危険物取扱者乙種2類	4	実用英語技能検定3級	9	第3種冷凍機械責任者	831	損害保険普通資格	8
危険物取扱者乙種3類	2	実用英語技能検定4級	1	第一種衛生管理者	268	損害保険上級資格	1
危険物取扱者乙種4類	1141						
合 計						19,712名	

◇上記は2007年8月末日時点のデータ。



⑦従業員の状況

1. 従業員数の推移

単位:名

性別	年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
		期末	期末	期末	期末	期末	中間
正社員	男性	1,984	1,898	2,306	2,396	3,810	3,855
	女性	72	100	157	184	367	354
	計	2,056	1,998	2,463	2,580	4,177	4,209
契約社員	男性	939	887	745	606	1,094	1,188
嘱託社員	女性	213	176	131	132	133	130
	計	1,152	1,063	876	738	1,227	1,318
パート・アルバイト		3,996	3,332	2,499	2,444	2,834	2,816
合計		7,204	6,393	5,838	5,762	8,238	8,343

2. 平均年齢の推移

年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
	期末	期末	期末	期末	期末	中間
平均年齢(才)	42.4	43.1	41.8	44.1	45.2	45.8

◇上記は2007年8月末日のデータであり、パート・アルバイト欄の人数は月172時間労働とした場合の人数です。パート・アルバイト総数は5,274名であり、正・契・嘱5,527名を加えた全従業員数計は10,801名となります。



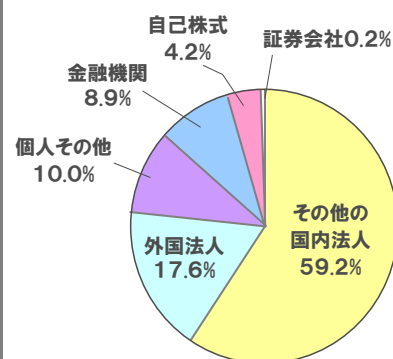
⑧株主の状況・株価推移

1. 大株主の状況(上位10社)

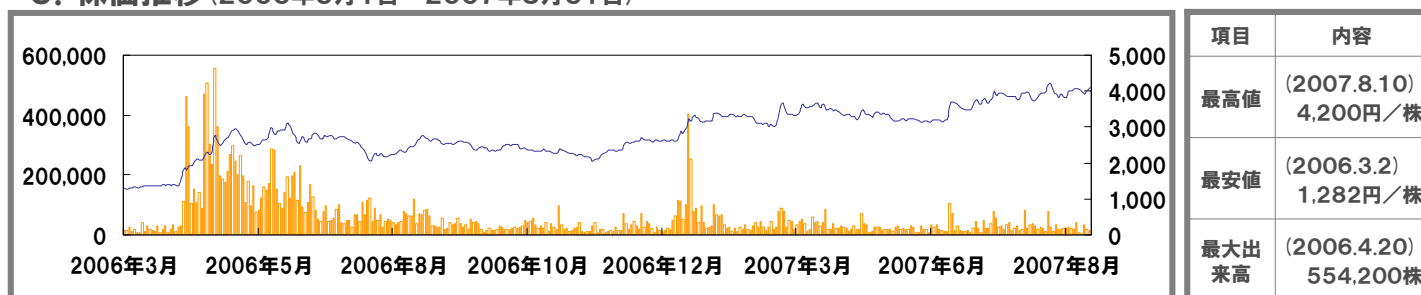
所有比率は発行済株式(2,070万株)に対する比率

順位	株主名	所有株式数(株)	所有比率
1	(株)マイカル	11,630,900	56.18
2	イオンディライト(株)(自己所有)	864,525	4.17
3	日本トラスティサービス信託銀行(株)	602,400	2.91
4	ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	526,000	2.54
5	ゴールドマンサックスインターナショナル	422,700	2.04
6	イオンディライト従業員持株会	412,700	1.99
7	カセイス バンク ルクセンブルグ クライアント アカウント	367,900	1.77
8	ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	305,800	1.47
9	日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	282,100	1.36
10	イオン(株)	280,400	1.35

2. 所有者区分(比率)



3. 株価推移(2006年3月1日-2007年8月31日)



◇上記は2007年8月末日時点のデータです。



本日は、ご清聴頂きまして誠にありがとうございました。
ご意見・ご質問につきましては、下記にお願いいたします。

イオンディライト株式会社(証券コード:9787)

IR担当連絡先 部署名:ディライトコミュニケーション部
責任者名:倉方(クラカタ)
TEL 06-6260-5632
FAX 06-6260-5653
又は、ホームページよりお問い合わせください。
[Http://www.aeondelight.co.jp](http://www.aeondelight.co.jp)
※FAXにてご送信される方は、
お名前とご返答用連絡先を必ずご記入ください。

本日、ご説明した内容につきましては発表日当日(2007年10月4日/5日)に入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により業績予測につきましては、変更する場合がございます。